

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2011年3月9日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No. 199】

革マルに利用されないためにJR総連革マル浸透の実態解明を！

前号で、2005年12月16日に枝野幸男内閣官房長官ら民主党議員がJR総連の意向を受け、業務上横領事件や浦和電車区事件について警察庁関係者らから「ヒアリング」し、捜査に「圧力」をかけた問題を検証したが、この問題については、2月10日の衆議院予算委員会で平沢勝栄議員が枝野長官に以下の通り質問している。

(枝野長官)内閣としても、そういった問題のある組織(注:革マル派)の者が、そういった組織(注:JR総連・東労組)の中にいるということは、その通りのことでございますので、したがって、そうした勢力に利用されることのないように、留意してまいりたいと、いうふうに思っております…(後略) (平沢議員)官房長官は利用されることのないように、と言っていますが、利用されているのですよ、官房長官。…(中略)…「厚生労働省等ヒアリングの開催について」というのがあります。官房長官は呼びかけ人の一人なんですけども、これを主催したのはどこなんですか。官房長官も出ておられますけれども。(枝野長官)ILOで採択された報告書にある、ILOからの要請について、関係省庁からヒアリングした記憶はございますが、…(中略)…詳細は記憶しておりません。(平沢議員)そもそも、この呼びかけ人の、この紙はおかしくないですか、呼びかけ人は国会議員で、そして、出欠の連絡、FAXの返送先は、03-****-****、これはJR総連ですよ。一番下をみてください。お問い合わせ先は、JR総連政治部長になっているのです。官房長官、JR総連と一体となってやって、JR総連の代理人として動いているのではないかと、このペーパーを見てくださいよ。…(中略)…この時、ILOの勧告についてのヒアリングと言っていますが、ここに詳細な議事録があるんです。この議事録を見てみますと、官房長官は、警察が現在進行形でやっている捜査について、これはおかしい、と言って、相当の圧力をかけているんです。…(中略)…官房長官は圧力をかけているのではないですか。現在進行形の警察の捜査について、再差し押さえのやり方について、捜索の時の押収の物について、圧力をかけているのではないですか。(枝野長官)(前略)…今、議事録と称するものをお読みになったようですが、確認をいたしました、党としても、私自身としても、議事録的なものを作成するということはしておりませんので、その内容の一々についての真偽については何とも申し上げようがありません。…(後略) (平沢議員)このヒアリングをやる時に、各省庁とやる前に、10時半から、まずJR総連から注文を聞いているわけです。そして11時から各省庁を呼んでいるんです。そうでしょう、この紙を見てください。だから、まさに、JR総連と一体となって動いて、そして、この議事録を見ると、明らかに官房長官は現在進行形の捜査に圧力をかけているんです。状況を聞いているのではないんです。捜索がおかしいと言っているんです。これでも圧力ではないと言えますか。

民主党政権は警察や公安調査庁を駆使し徹底解明すべき！

JR総連をめぐる「業務上横領事件」について、警察が「JR内革マル派による組織的犯行」と分析していることや、浦和電車区事件加害者の梁次邦夫氏は革マル派のカンパを集約していた人物で、警察も活動家としてみていることはすでに検証した通りだ。枝野長官は「(革マル派に)利用されないよう留意したい」と答弁したが、そのためにはJR総連・東労組への革マル派浸透の実態解明が先決だ。民主党政権は、国の治安問題の解決のために、政府機関である警察や公安調査庁を駆使して徹底解明に取り組むべきである。